

平成26年度 福島議定書(従来編) 取組結果報告書

事業所名		■提出期限 平成26年11月28日	
電話番号		■提出先 ●福島県庁 環境共生課 〒960-8670 福島市杉妻町2-16 FAX 024-521-7927 メール ontai@pref.fukushima.lg.jp	
担当者名		●最寄りの地方振興局	
取組期間	ヶ月	月～	月 基準年 平成 年

●二酸化炭素排出削減量

(1)事業所における削減量

	二酸化炭素 排出係数①	基準年		平成26年		削減量	
		使用量②	二酸化炭素排出量③ ①×② kg-CO ₂	使用量④	二酸化炭素排出量⑤ ①×④ kg-CO ₂	使用量 ②-④	二酸化炭素排出量 ③-⑤ kg-CO ₂
電気 (kWh)	0.56						
水道 (m ³)	0.58						
ガソリン (リットル)	2.3						
軽油 (リットル)	2.6						
灯油 (リットル)	2.5						
A重油 (リットル)	2.7						
(その他)							
(その他)							
合計	-	-	(A)	-	(B)	-	(C)

※裏面の「月別使用量」の合計を「使用量」欄に記入してください。

※記載のない燃料を使用している場合には、(その他)欄に記入してください。

※製造業の事業所においては、原単位(生産量当たりの二酸化炭素排出量)による報告でも可とします。

削減率 C/A×100	%
----------------	---

(2)職場交通マネジメント(クルマ通勤からの転換)による削減量

裏面の「クルマ通勤をしなかったことによる二酸化炭素排出削減量」の合計数値を記入してください。	取組人数	平成26年削減量(単位:kg-CO ₂)
	人	

●「みんなでエコチャレンジ家庭版」の参加状況

応募用紙の配布枚数

枚

●ゼロエミッション(廃棄物ゼロ)の取組状況

※取組内容を記入してください。(資料添付可)

取組内容

●社会貢献活動

※社会貢献活動の取組内容を記入してください。(資料添付可)

取組内容

●特記事項

・貴事業所で取り組まれている内容について(工夫した点など)御自由に記入してください。
 ・記入欄が不足する場合は、任意の様式に記入の上添付願います。
 ・その他、使用した資料や提供可能な写真などがありましたら併せて御提出ください。

取組内容

● 月別使用量

	基準年							平成26年						
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
電気 (kWh)														
水道 (m ³)														
ガソリン (リットル)														
軽油 (リットル)														
灯油 (リットル)														
A重油 (リットル)														
(その他)														
(その他)														

■ 職場交通マネジメントによる二酸化炭素排出削減量の算出方法

*ガソリンの二酸化炭素排出係数 2.3(kg/ℓ)
*自動車の標準的な燃費 10(km/ℓ)とする

- マイカー通勤から公共交通機関等、他の交通手段へ転換した場合の二酸化炭素削減効果の算出方法

$$2.3(\text{kg}/\text{ℓ}) \times \text{【A】通勤距離}(\text{km}) \div 10(\text{km}/\text{ℓ}) \times \text{【B】クルマを使用せず通勤した日数}$$

- 各従業員の二酸化炭素排出削減量の合計=事業所における二酸化炭素排出削減量

● クルマ通勤をしなかったことによる二酸化炭素排出削減量

従業員	【A】通勤距離 {往復}(km)	クルマ通勤をしなかった日数							削減量(kg-CO ₂) 2.3(kg/ℓ) × 通勤距離(km) ÷ 10(km/ℓ) ×クルマを使用せず通勤した日数
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	【B】計	
1								2.3 × 【A】 ÷ 10 × 【B】	
2									
3									
4									
5									
合計	-	-	-	-	-	-	-	削減量 合計	

■ 審査項目 ※平成26年度の表彰に当たり、下記の項目について審査を行います。

- 事業所における二酸化炭素排出削減量・削減率
- 二酸化炭素排出削減に向けた意欲的な目標設定
- 職場交通マネジメント(クルマ通勤からの転換)による二酸化炭素排出削減量
- 二酸化炭素排出削減目標の達成状況
- ゼロエミッション(廃棄物ゼロ)の取組状況
- 社会貢献活動
- 「みんなでエコチャレンジ家庭版」の参加状況
- 取組内容の工夫、取組手法の多様性 等